

康生会 武田病院

2024年 冬号

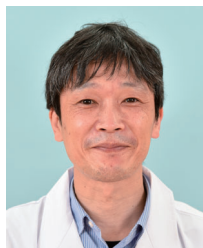
地域医療連携だより



多様な連携に支えられる糖尿病診療

糖尿病は慢性的に高血糖状態が持続する疾患で、一生付き合わないといけません。そして、治療には食事療法・運動療法・薬物療法等が必要で、患者さんの日常生活に深く関わっています。また、すべての治療を患者さんと作り上げるには様々な人との連携が必要不可欠となってきます。

武田病院では、多様な職種によるチーム医療を行っており、地域の先生方と連携しながらお一人おひとりの患者さんを支えています。



糖尿病内科 特任部長
谷川 隆久

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R
(減らす、再使用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

入院診療について

1～2週間の教育入院を行っています。糖尿病ワーキングチームで作成したテキストを用い、パス形式で情報共有しながら指導をしています。

認知症合併例や ADL 低下の著しい高齢者など教育より療養環境の調整が必要な場合は、認知機能評価・ADL 評価を行い、本人・家族・介護サービス訪問診療医と協議しながら在宅療養に必要な環境を整えていきます。



糖尿病ワーキング



フットケア

外来診療について

療養指導・フットケア・糖尿病性腎症重症化予防指導を連携して行っています。指導記録等で情報共有しながら指導にあたり、腎症重症化予防指導では看護師・管理栄養士・医師が連携して指導にあたっています。

また、月に1回糖尿病教室を開催しています。月替わりで各科の先生や各職種メンバーによる講義形式を基本とし、食事を通じた指導や体力測定など患者参加形式も行っています。

各科との連携について

糖尿病は全身に影響を及ぼす疾患であるため、他科へコンサルトし協力して合併症管理をしています。また疾患原因が糖尿病の場合や糖尿病が依存症であるなどで、他科からコンサルトを受けることが多数あります。去年は約250名のコンサルトを行い、約450名のコンサルトを受けました。入院患者さんでは常時、他科患者さん約30名の併診をしています。

糖尿病の教育や血糖コントロール目的の紹介・逆紹介を、情報共有しながら積極的に行っています。

また当院は、糖尿病内科の入院患者さんの半数以上が緊急入院であるため、かかりつけ医と情報交換等、退院後のスムーズな逆紹介を心がけています。認知症を有する方が多いため、介護介入が必要な場合は地域包括ケア病棟を活用し、退院後の療養環境を整え逆紹介しています。

地域医療機関との連携について

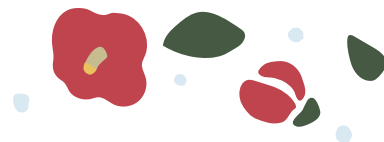
患者会・市民講座について

患者会である「積翠会」は当院・康生会クリニックに通院中の方と医療スタッフの集いです。毎月、療養に必要な情報を提供しつつ、糖尿病教室にご参加いただき、レクリエーションを通じ医療従事者・患者間の交流を深めています。また、市民講座で多数の市民の皆さんにご参加いただくなど多様な連携のもと、より患者さんにあう医療を追求してまいります。



糖尿病教室の様子

フルオロキノロン耐性大腸菌について



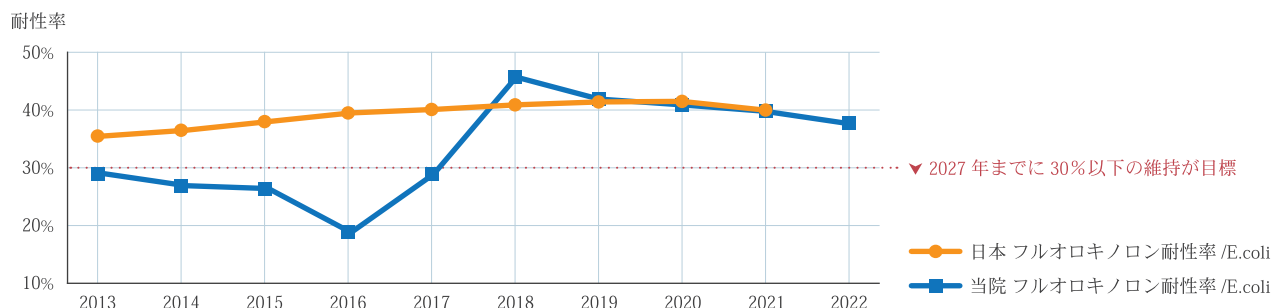
日本では薬剤耐性（AMR）による感染症まん延防止のため、菌種別耐性率の数値目標を立て対策を実施しており、2023年に目標数値が更新されました。
その中で、注目度が高いフルオロキノロン耐性の大腸菌について紹介します。

大腸菌のフルオロキノロン耐性率の推移

日本の薬剤耐性アクションプラン（2016～2020）では耐性率 25%以下が目標でしたが、毎年 1.5%の増加傾向となり、結果 2020 年に 41.5%となりました。

よって、プランが検討され 2027 年までに 30%以下の維持が目標となりました。

当院の耐性率は 2016 年から 2018 年は上昇傾向でしたが、2018 年以降は低下しています。しかし目標値には達していません。



フルオロキノロン剤について

緑膿菌に感受性があり、レジオネラ肺炎など重症肺炎への適応や抗結核作用も有するため適正使用が非常に重要です。不適正使用例としては単純性尿路感染症があり、必ず適正治療指針である「オーグメンチン配合錠」を使用してください。（JAID/JSC 感染症治療ガイド 2023 参照）

抗菌薬適正使用支援チームの活動

- フルオロキノロン製剤の処方量や耐性菌の推移の確認、適正使用の検討
- 周知が必要な症例に関しての感染対策委員会や全部署大会への報告
- 合同カンファレンスにて、連携施設等へ大腸菌フルオロキノロン耐性の説明や適正使用の推進

受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00

※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みいたします。

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)

FAX (075) 361-1337 (専用)

※患者サポートセンターの受付時間外につきましては、医事部（医療事務）にて対応いたします。

TEL (075) 361-1351 (代表) FAX (075) 361-1268 (医事部専用)

患者
サポート
センター



武田病院



患者サポート
センター